

V 事業報告

2020（令和2）年初頭から世界的に拡大した新型コロナウイルス感染症については、2022（令和4）年10月には日本政府の水際対策が大幅に緩和されるなど、社会生活や経済の正常化に向かう動きが見られた。HIAでも、令和4年度上半期を中心に、一部事業の中止・延期・規模縮小等を強いられたが、テレワークやオンラインの活用等による研修会・講演会・交流等を着実に実施し、多文化共生や国際交流の推進に努めた。

《令和4年度におけるコロナ禍の主な影響》

【事業】

- ・オックスブリッジ英語サマーキャンプ、セヌ・エ・マルヌ県との人物交流、海外研修員受入等の中止・延期
- ・居場所づくり助成対象事業等の一部中止 など

【施設利用】

◇情報センター（図書室）

- ・開館時間短縮：令和2年6月1日（月）～令和5年3月31日（金）

1 多文化共生社会の実現

県の「ひょうご多文化共生社会推進指針」に基づき、地域の実情に合わせた日本語教育の体制づくりを市町等と連携しながら進めるとともに、災害時等における外国人支援、地域のボランティア団体等と連携した居場所づくり、多言語に対応した総合相談センターの運営により、多文化共生の環境づくりを進める事業を実施。

(1) 地域と進める日本語に関する学習支援

ア 地域日本語教育の総合的な体制づくりの推進

（R4年度決算額 42,395 千円）（R3年度決算額 34,088 千円）

日本語学習を必要とする外国人県民が、身近な生活圏で日常生活に必要な日本語能力を身につけることができるよう、文化庁「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」を活用し、全県レベル・地域レベルでの日本語教育体制を整備。

（ア） 兵庫県地域日本語教育の総合的な体制づくり

① 総合調整会議の開催

県・市町、教育機関（大学・日本語学校）、外国人コミュニティ、経済団体等関係機関による総合調整会議を開催し、県内の日本語教育推進の課題を協議・検討。

- ・時 期：6月3日（金）、2月15日（水）
- ・形 式：オンライン
- ・内 容・地域日本語教育の総合的な体制づくりに係る事業計画 等



総合調整会議

② 総括コーディネーターの配置

文化庁事業を推進するため総括コーディネーター2人を配置し、総合調整会議を開催するほか、全県的な体制づくりのための事業の実施、モデル事業実施地域の体制づくりを支援。

(イ) 地域におけるモデル事業の実施(市町、協会等への委託)

令和3年度からの東播磨地域に加え、令和4年度は阪神、淡路地域で実施。

① 地域調整会議の開催

市町、教育機関、日本語教室、企業関係団体、労働関係団体等地域における関係機関による地域調整会議を開催し、地域における日本語教育の体制づくりを推進。

・地域及び時期：

地域	時期
東播磨地域	7月28日(木)、1月26日(木)
阪神地域	8月29日(月)、1月27日(金)
淡路地域	8月16日(火)、1月20日(金)

② 地域コーディネーターの配置

モデル事業実施地域(東播磨・阪神・淡路)に地域コーディネーターを各2人配置し、地域調整会議の開催、地域日本語教室開催等のモデル事業を実施。

③ 日本語教師による地域日本語教室の実施

日本語教師とボランティアが連携して教室活動を実践することを通じ、各地域で提供できる日本語学習の質と機会の向上を促進。

a 初期日本語教室

- ・対象：地域在住外国人県民(東播磨・阪神・淡路)
- ・内容：専門性を持つ日本語教師が授業を担当し、地域の学習支援ボランティアにも参加を呼びかけて入門期の日本語講座を対面あるいはオンラインで開催。

b 地域ニーズに対応した日本語教室

地域在住外国人県民(東播磨・阪神・淡路)を対象に、これまで地域で対応できなかったニーズに応える日本語講座を開催。

- ・東播磨地域：会話力アップクラス
- ・阪神地域：オンライン日本語講座

さんだ子育てのにほんごひろば

・淡路地域：中級日本語教室



日本語教師による地域日本語教室等(三田市)

④ 住民参加型イベント・研修会

日本語学習者の地域社会への参加と地域住民の多文化共生への理解の促進に向けて、住民参加型イベント・研修会等を地域の実情に合わせて実施。

a 東播磨地域（高砂市）

◇東播磨地域住民対象研修

- ・時 期：5月28日（土）
- ・内 容：「やさしい日本語」とは
- ・参加者：40人

◇多文化共生の拠点をみんなで作ろう

- ・時 期：5月1日（日）～5月5日（木）
- ・内 容：令和3年度に作成した計画に沿って高砂市国際交流協会新事務所のエントランスを改修
- ・参加者：延べ118人（外国人住民18人、日本人住民93人、中高生美術部員7人）

b 阪神地域（三田市）

◇阪神地域住民対象研修①

- ・時 期：8月27日（土）
- ・内 容：日本語学習支援の際に必要な「やさしい日本語」を考える
- ・参加者：17人

◇阪神地域住民対象研修②

- ・時 期：11月23日（水）
- ・内 容：「やさしい日本語」講座
- ・参加者：20人

◇阪神地域住民対象研修③

- ・時 期：12月12日（月）
- ・内 容：「日本語でおしゃべりをしよう～やさしい日本語での対話型活動のすすめ～」
- ・参加者：28人

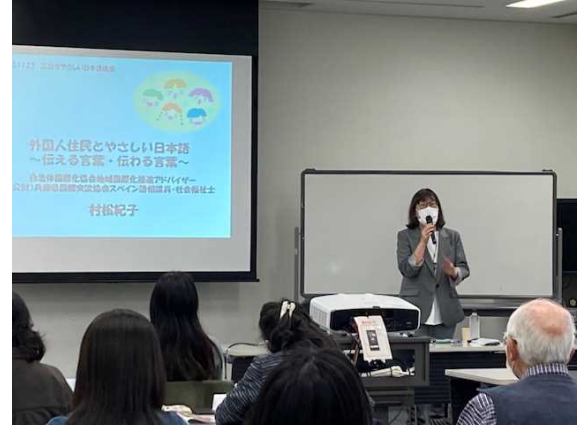
c 淡路地域（淡路市）

◇防災について学ぼう

- ・時 期：6月26日（日）
- ・内 容：淡路市北淡震災記念公園にて施設見学、消防局による講義、シェイクアウト訓練
- ・参加者：31人（外国人住民27人、日本人住民4人）



住民参加型イベント～多文化共生の拠点をみんなで作ろう～(高砂市)



やさしい日本語研修(三田市)

(ウ) 外国人県民対象日本語講座開催事業

広く全県を対象に、オンライン等の手法を取り入れながら、生活場面での対処能力を高めるための日本語教師による講座を開催。

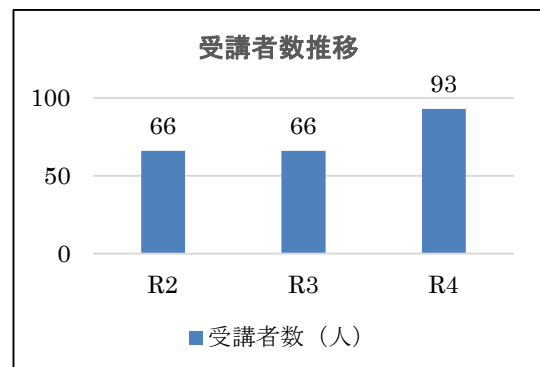
また、地域の教室への知見の普及を図るため見学者やサポーターを受け入れるほか、日本語教育の活動拠点として、日本語教育教材の収集・管理、調査・研究に資する日本語教育推進室を管理・運営。

① 外国人県民対象日本語講座

- ・内 容：オンラインによる文型積み上げ型初級講座
- ・回数等：各クラス2時間×週2回×9週間×2期 計72時間
- ・時 期：第1期5月23日（月）～7月25日（月）
第2期11月7日（月）～1月23日（月）
- ・クラス：初級6クラス（A～F）
- ・受講者：年間93人（第1期41人、第2期52人）
※定員は年間108人（（7人×2クラス+10人×4クラス）×2期）
- ・受講料：各期1,000円



外国人県民対象日本語講座



② 「すぐに役立つ日本語講座」(集中日本語講座)

- ・内 容：生活場面と密着したコミュニケーション能力の向上に資する講座
- ・日数等：18日間 45時間
- ・クラス：2クラス(レベル別)
- ・受講者：19人
- ・時 期：9月5日(月)～9月30日(金)
- ・受講料：4,000円

③ ウクライナ避難民対象オンライン日本語講座(新規)

- ・内 容：地域での継続的な支援を視野に入れ、その前段階として地域の方との交流に最低限必要な入門期の日本語を学ぶ講座
- ・回数等：1クラス 2時間×20回×最大2期 計80時間
- ・クラス：3クラス(開始時期が異なる)
- ・受講者：9人
- ・時 期：8月～2月(クラスによる)

(エ) 日本語学習支援人材育成事業

地域の実情に応じた日本語学習支援に向けた学習支援ボランティア、日本語教師、地域日本語教育コーディネーター等の人材を育成し、外国人県民・児童生徒の支援に役立つ研修を実施。

① 生活者としての外国人県民(成人)への学習支援ボランティア対象研修

- ・時 期：10月12日(水)、11月2日(水)、11月16日(水)、
12月7日(水)、12月21日(水)
- ・形 式：オンライン
- ・回 数：全5回(2.5時間×5回)
- ・内 容：兵庫県体制づくり推進事業、地域日本語学習支援の意義、支援者としての基本スキル、活動のバリエーション及び実践例 等
- ・参加者：延べ208人

② 日本語教師対象研修

- ・時 期：1月18日(水)、1月25日(水)
- ・形 式：オンラインで実施
- ・回 数：全2回(2時間×2回)
- ・内 容：地域日本語教室と日本語教育の役割 等
- ・参加者：延べ107人

③ 地域日本語教育コーディネーター育成研修

- ・時 期：7月27日(水)、8月24日(水)、10月26日(水)
- ・形 式：対面
- ・回 数：全3回(4時間×3回)
- ・内 容：地域の外国人住民や教室の課題・解決策、実践計画の作成、コーディネーターに求められる幅広い役割 等
- ・参加者：延べ28人

④ 外国につながる子どもへの日本語・学習支援を考える研修会

- ・時 期：11月19日(土)
- ・回 数：全1回(2時間)
- ・形 式：オンライン

- ・内 容：外国をルーツとする児童生徒の日本語、学習支援を巡る課題や行政の施策 等
- ・参加者：73 人
- ⑤ ICT 研修（日本語学校等へ委託）
 - ・時 期：1月14日（土）、1月21日（土）、1月28日（土）、2月4日（土）、2月11日（土）、2月18日（土）
 - ・回 数：全6回（2時間×6回）
 - ・形 式：オンライン
 - ・内 容：オンライン活用に係る基礎、学習支援への応用、ICT 教材の活用 等
 - ・参加者：延べ220 人
- ⑥ 地域日本語教育シンポジウムの開催

兵庫県で取り組む文化庁事業、国の動向、市町の役割等について理解を深めるため、市町・市町国際交流協会、支援者、日本語教師、関係者等を対象に実施。

 - ・時 期：8月2日（火）
 - ・回 数：全1回（3時間）
 - ・形 式：オンライン
 - ・内 容：地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業、国の動向、市町の役割 等
 - ・参加者：60 人
- ⑦ ウクライナ避難民への支援を考える研修会
 - ・時 期：6月16日（木）、7月13日（水）、1月12日（木）
 - ・回 数：全3回（2時間×3回）
 - ・形 式：オンライン
 - ・内 容：県内の受け入れ状況・支援体制、これまでの難民・避難民支援、心理的なケアや支援の留意点 等
 - ・参加者：延べ125 人



地域日本語教育コーディネーター育成研修

（オ） 日本語教育体制づくり事業

- ① 市町日本語教育体制づくり事業（文化庁間接補助事業）

市町等による外国人県民・児童生徒を対象とした日本語教室等の開催など地域日本語教育の体制づくりを推進するため、市町等による地域日本語教育事業にかかる財政支援を実施。

・対 象：豊岡市、三木市、小野市、加西市、多可町、上郡町、播磨町、公益財団法人西宮市国際交流協会

② 民間日本語教育体制づくり事業（文化庁間接補助事業）

民間団体・グループによる外国人県民・児童生徒を対象とした県内の日本語教室等の事業が、外国人県民・児童生徒の居場所として、更には日常生活や緊急時のセーフティーネットとしての役割を果たすことを目指し財政支援を実施。

・対 象：東灘日本語教室、こうべ子どもにこにこ会、特定非営利活動法人神戸定住外国人支援センター、特定非営利活動法人多文化センターまんまるあかし

③ 生活に必要な日本語のニーズ別学習支援方法の検討

地域の日本語教室において多様化する外国人学習者のニーズに対応するため、学習者の属性（技能実習生、日本人配偶者、日系人等）や生活上の必要性（教育、安全に暮らす、社会参加等）を踏まえ、各教室で参考にしやすいように地域事例を整理し、情報を提供。

④ 入門期の外国人が学習しやすい教材の作成・普及

標準的カリキュラム案を参考に、HIA が2015年に作成した『くらしのにはほんご』（英語・中国語・スペイン語・ポルトガル語・ベトナム語版）の内容を入門レベルに焦点を当てて「入門版」を作成。HIA が実施する「すぐに役立つ日本語講座」1クラスで試行。

(2) 多言語による相談体制の充実と情報発信

ア ひょうご多文化共生総合相談センターの運営

（R4年度決算額 35,752 千円）（R3年度決算額 38,297 千円）【県委託等】

国の「外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策」に基づき、法務省の支援を得て外国人県民への総合生活相談窓口機能を有するセンターとして県が設置する「ひょうご多文化共生総合相談センター」を運営する。同センターでは、平日の生活相談は「外国人県民インフォメーションセンター」が実施し、週末相談についてはNGOと協働で「週末相談窓口」において実施。

（ア）外国人県民インフォメーションセンターの運営

医療、暮らし、社会保障、教育、労働など外国人県民の日常生活の多様な相談に応じるため、5言語による相談員及び専門相談員による生活相談を実施。

また、翻訳アプリ及び電話通訳の活用により、ベトナム語、韓国語、タガログ語、インドネシア語、タイ語、ネパール語等で対応（合計22言語）。

・開設時間：月曜日～金曜日 9:00～17:00

・体 制：センター長1人、相談員5人

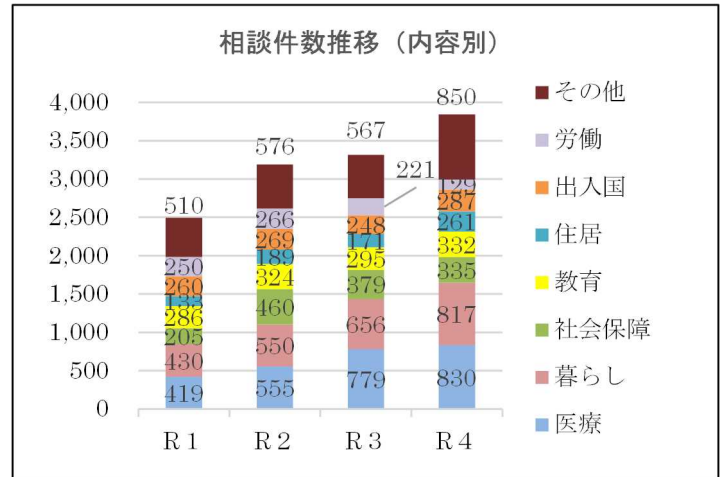
・対応言語：（相談員）日本語、英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語

（翻訳アプリ等）タガログ語、韓国語、ベトナム語、インドネシア語、タイ語、ネパール語、ミャンマー語、クメール語、マレー語、モンゴル語、シンハラ語、ヒンディー語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、ロシア語、ウクライナ語

・相談件数：3,841 件（令和3年度実績 3,316 件）



外国人県民インフォメーションセンター

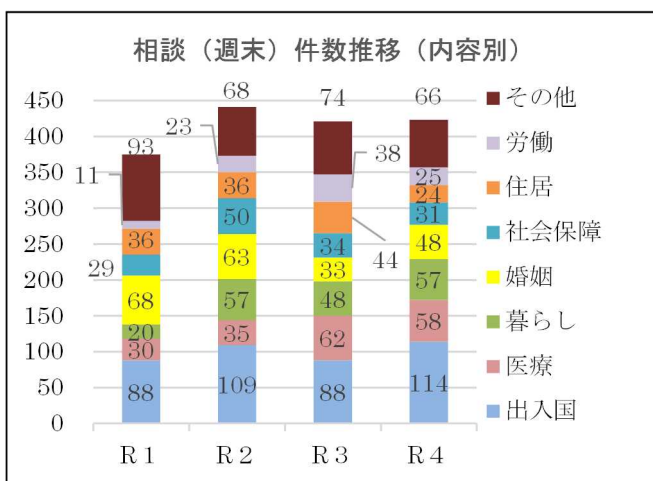


※うちウクライナ避難民等相談窓口相談件数 579件

（イ） 週末相談窓口の運営

外国人県民インフォメーションセンターでの相談体制を補完する週末相談を、NGO と協働で、翻訳アプリ及び電話通訳の活用により、同センターと同等の言語で対応（合計 22 言語）。

- ・実施団体：NGO 神戸外国人救援ネット
- ・開設時間：土・日曜日 9:00～17:00
- ・体制：専門相談員 2 人が電話通訳も活用して対応
- ・対応言語：（相談員）日本語、英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語、タガログ語
（翻訳アプリ等）韓国語、ベトナム語、インドネシア語、タイ語、ネパール語、ミャンマー語、クメール語、マレー語、モンゴル語、シンハラ語、ヒンディー語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、ロシア語、ウクライナ語
- ・相談件数：423 件（令和 3 年度実績 421 件）



NGO 神戸外国人救援ネット

(ウ) NGO/NPO が行う夜間相談活動等の支援

- ・対象団体：NPO 法人 NGO 神戸外国人救援ネット、NPO 法人篠山国際理解センター
- ・相談件数：382 件（2 団体合計）

団体名	対応言語	相談日時	件数
NGO 神戸外国人救援ネット	英・スペイン・ポルトガル・タガログ語	毎週金曜 17 時～20 時	181
特定非営利活動法人 篠山国際理解センター	英・ポルトガル語	毎週水曜 13 時～16 時	201

(エ) ウクライナ避難民への日常生活支援コーディネート事業（新規）

県内での生活を開始したウクライナ避難民向けに相談窓口を設置し、生活に関する相談受付およびヒアリングを実施し、課題解決のために、各種支援機関・市町等との調整を図り、避難民の暮らしへの日常の支援（同行通訳や翻訳等を含む）を実施。

- ・委託先：NPO 法人多言語センターFACIL
- ・支援実績：日常支援 125 件、生活相談 70 件

イ HIA 日本語及び多言語 WEB サイトの運用・保守

（R4 年度決算額 2,314 千円）（R3 年度決算額 2,017 千円）

日本語 WEB サイト及び多言語 WEB サイトを通じて県内在住の外国人、支援者等に対する生活・講座情報等が円滑に発信できるよう、同システムの運用・保守を実施。

- ・多言語 WEB サイトの言語：英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、やさしい日本語
- ・アクセス件数：101,607 件

ウ 医療機関における外国人患者受入環境の整備

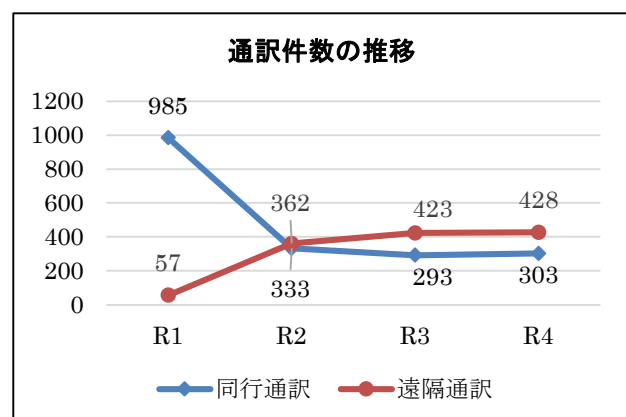
（R4 年度決算額 3,000 千円）（R3 年度決算額 3,001 千円）

医療機関における外国人患者受入環境を整備するため実施する医療通訳コーディネーターの配置に伴う人件費及び遠隔地通訳システム構築に要する経費の一部を助成。

- ・対象：医療通訳コーディネート機関（市町国際交流協会、NPO 等）
- ・対象事業：医療通訳コーディネーターの配置、遠隔地通訳支援システム構築
- ・交付件数：1 件（3,000 千円）
- ・事業実績：同行通訳件数 303 件、遠隔通訳件数 428 件
（令和 3 年度実績 同行通訳 293 件、遠隔通訳 423 件）



同行通訳対応



(3) 災害時等における外国人支援

ア 外国人県民向け多言語情報発信事業

(R4年度決算額 481 千円) (R3年度決算額 1,925 千円) 【一部県委託・補助】

災害時等に緊急情報を多言語で情報発信できる体制を整備し、情報不足による外国人県民の不安の軽減を図った。

① 災害時・非常時等多言語緊急情報翻訳事業

災害時・非常時等の翻訳について、翻訳・通訳を専門とする団体・企業と契約を締結し、早急に多言語で情報発信をする体制を整備。

- ・委託先：NPO 法人多言語センターFACIL、株式会社イー・シー
- ・件数：0件

② 新型コロナウイルス感染症関連情報翻訳事業（新規）

ワクチン接種に関する情報や感染対策に関することなど、新型コロナウイルス感染症に関する情報を翻訳し、外国人相談窓口での提供やWEB サイトでの発信等を実施。

- ・翻訳内容：新型コロナウイルス感染症に関する知事メッセージ
- ・件数：9件

③ 多言語情報翻訳事業

外国人県民に必要な情報を適宜翻訳し、発信。

- ・件数：0件

④ 多言語情報発信連絡会議の開催

外国人県民向けの情報提供のあり方などを外国人コミュニティ団体等と定期的に意見交換を実施。

- ・時期：1月6日（金）
- ・場所：ひょうご国際プラザ交流ギャラリー
- ・参加団体：ベトナム夢 KOBE、ひょうごラテンコミュニティ、NPO 法人関西ブラジル人コミュニティ CBK、神戸地方気象台 等



多言語情報発信連絡会議

イ 災害時外国人支援

(R4年度決算額 千633 円) (R3年度決算額 190 千円)

地域の国際化が進展する中、災害時に外国人住民が被災者となるケースも増加している。言葉や文化の違いから、災害時に必要な情報を得ることが難しい外国人住民もいることから、特別な支援の必要性が想定される。そのため、多言語支援センターの設置訓練の実施等、災害時に備えるとともに市町及び市町国際交流団体の取組を推進。

- ① HIA 多言語広域支援センター設置訓練
多言語支援センター設置に関するノウハウを習得するため、訓練を実施。
 - ・時 期：3月15日（水）
- ② 研修会の実施
災害時に外国人への支援を行う人材を育成するため、研修を実施。
 - ・時 期：2月25日（土）
 - ・形 式：オンライン
 - ・参 加 者：11人
- ③ 災害時外国人支援助成事業
県内の市町国際交流団体等が行政と連携して実施する災害時の外国人支援事業に対して助成。
 - ・助成件数：1件100千円（令和3年度実績 1件）
- ④ 県主催外国人支援防災訓練への協力
県が多可町で実施した外国人向け防災訓練に協力。
 - ・日 程：7月3日（日）13:30～16:30
 - ・場 所：多可町文化会館ベルディーホール
 - ・主 催：兵庫県
 - ・協 力：多可町、HIA、ひょうご国際交流団体連絡協議会
 - ・参加者：29人（地元企業の外国人従業員）
- ⑤ 県・播磨広域合同防災訓練への参加
県民の防災意識の高揚と地域防災力の向上を図るため、県等が実施する広域合同防災訓練に、県国際課とともに参加し、避難所における外国人对応の訓練を支援。
 - ・日 程：9月4日（日）
 - ・場 所：アスパル（多可町健康福祉センター）
- ⑥ ぼうさいこくたいへの参画
ぼうさいこくたい2022 in 兵庫がHAT神戸で開催される機会に、会場を提供するとともに、災害時の外国人支援にかかるブースを出展。
 - ・日 程：10月22日（土）、23日（日）
 - ・主 催：防災推進国民大会2022実行委員会（内閣府等）
 - ・協 力：兵庫県、神戸市、人と防災未来センター
 - ・協 賛：HIA
 - ・参加者数：イベント全体で現地来場12,000人、オンライン視聴数11,000回
 - ・出展内容：CIRによる災害時のコミュニティ体験



県主催外国人支援防災訓練



ぼうさい国体2022in 兵庫

ウ 子どもと親の防災ガイドブック改訂事業

(R4年度決算額 1,249 千円) (R3年度決算額 1,240 千円)

平成 24 年度に作成した外国人児童生徒への母語教育教材として作成した「子どもと親の防災ガイドブック」(9 言語)について、フィリピン語、韓国語、インドネシア語、タイ語の 4 言語を改訂するとともに、新たにウクライナ語版を作成。なお、英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語の 5 言語は令和 3 年度に改訂済み。

- ・改訂言語：フィリピン語、韓国語、インドネシア語、タイ語
- ・新規作成言語：ウクライナ語



表紙



内容(見開きで、ウクライナ語と日本語を併記)

エ ウクライナ避難民への支援 (新規)

(R4年度決算額 33,060 千円)

県内在住の親族・知人等を頼ってウクライナから本県に一時避難した方々が安心・安全に過ごすことができるよう、生活準備及び日常生活への支援を実施。

(ア) ウクライナ避難民生活支援金の支給

支援の段階に応じて、一時宿泊支援金、入居準備支援金、生活維持支援金の 3 つを設定し、ウクライナ避難民に支援金を支給。

① 支援金：

区分	金額	概要
一時宿泊支援金	10 千円／人・泊 ※一時金で支給 (一世帯 2 人分を上限に最大 10 泊分まで)	入国後、公営住宅入居までの間に、県内宿泊施設へ一時滞在する場合に要した費用の一部を支援。
入居準備支援金	500 千円／世帯 ※一時金で支給	公営住宅での生活開始にあたり、家具、家電、寝具、食器類などの生活に必要なとなる用品の購入等にかかる経費を支援。
生活維持支援金	120 千円／世帯・月 ※月ごとに支給 (連続する最大 12 か月分)	公営住宅に入居を始めた初期の光熱水費、通信費、共益費等、生活維持に必要なとなる経費を支援。

② 支給実績：31 世帯 27,480 千円

(イ) 公民連携プラットフォームひょうごウクライナ避難民支援サイトの運営

ウクライナ避難民が安全・安心に過ごすことができるよう、日常生活や就労に関し、県・市町・企業等が支援の輪を広げる公民連携プラットフォーム特設サイトを開設・運営。

- ・開設日：4月28日（木）
- ・登録数：54 法人・団体



公民連携プラットフォーム ひょうごウクライナ避難民支援サイト

(ウ) 外国人県民対象日本語講座開催事業

〔再 掲〕

(エ) 日本語学習支援人材育成事業

〔再 掲〕

(オ) 外国人県民インフォメーションセンターの運営

〔再 掲〕

(カ) ウクライナ避難民への日常生活支援コーディネート事業

〔再 掲〕

(キ) 子どもと親の防災ガイドブック改訂事業

〔再 掲〕

(4) 多文化共生の環境づくり

ア 多文化共生を考える研修会の開催

(R4年度決算額 1,280 千円) (R3年度決算 1,295 千円)

外国人県民と接する機会の多い行政職員、教員、日本語教師、ボランティア等が、多文化共生について理解を深めることができる研修会を NGO と協力しながら開催。

- ・形式：オンライン
- ・対象：行政職員、教員、日本語教師、ボランティア、外国人支援 NGO 等
- ・参加者：延べ347人

時 期	テーマ
8月18日（木）	人道的な外国人受け入れを考える
8月22日（月）	日本語教育と外国にルーツを持つ子どもの教育
8月24日（水）	外国人との共生に向けての課題
8月25日（木）	多文化を活かしたまちづくり



多文化共生を考える研修会

イ 外国人県民・児童生徒の居場所づくり

(R4年度決算額 12,210 千円) (R3年度決算額 11,681 千円)

外国人県民・児童生徒が定期的集まることができ、地域社会で生活する拠点となるとともに、日常生活や緊急時のセーフティーネットとして機能する外国人県民・児童生徒の「居場所」として地域の母語教室、学習支援教室等の運営を行うボランティア団体等を支援。

① 基本メニュー

- a 児童生徒対象の母語・母語による学習支援教室の開催
 - ・講座数：23 講座
- b 地域日本語教室の開催
 - ・講座数：54 講座
- c 児童生徒対象の日本語・日本語による学習支援教室の開催
 - ・講座数：28 講座
- d 技能実習生等対象の日本語教室の開催
 - ・講座数：1 講座

② 追加メニュー

上記基本メニューに加えて、地域のニーズに合った取組を実施。

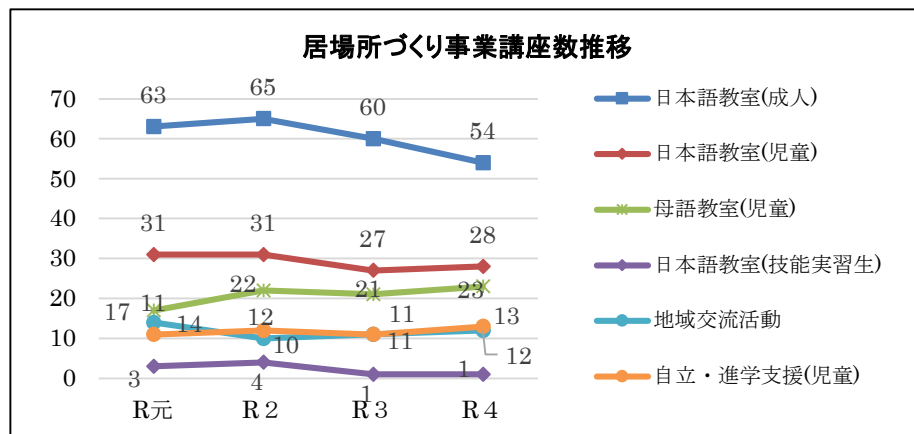
- a 地域との交流活動事業の開催及び居場所としての機能に必要な取組
 - ・事業数：12 事業
 - ・事業例：地域の人との交流を図る多文化共生イベントや発表会 等
- b 外国人児童生徒の社会的・職業的自立を支える事業の実施
 - ・事業数：5 事業
 - ・事業例：先輩の体験談を聞き将来の目標を考えるワークショップ 等
- c 外国人児童生徒の進路・進学や未就学児童生徒等の学習（プレスクール）を支える事業の開催
 - ・事業数：8 事業
 - ・事業例：入園・入学及び就学前の児童生徒のためのプレスクール教室 等



こうべ子どもにこにこ会(神戸市)



関西ブラジル人コミュニティCBK(神戸市)



ウ 海外移住と文化の交流センターへの支援

(R4年度決算額 377 千円) (R3年度決算額 264 千円)

神戸市立海外移住と文化の交流センターにおいて、在住外国人が日本人へ自国文化を発信し交流する事業を NPO 団体との協働で実施し同センターの活用を促進。

- ① 移民祭
 - ・時 期：4月30日(土)
 - ・参加者：54人
- ② ブラジル・日本の子どもの絵の交流展
 - ・時 期：8月3日(水)～1月31日(火)
 - ・参加者：約430人
- ③ サロンカーニバル
 - ・時 期：2月18日(土)
 - ・参加者：51人



ブラジル移民祭

(5) 母語教育の推進

ア 母語教育等活動支援事業

(R4年度決算額 4,502 千円) (R3年度決算額 4,503 千円)

外国人コミュニティによる母語教育等身近な場所におけるきめ細やかな生活支援体制を構築し、外国人を含むすべての県民が安全で安心して暮らせる社会づくりを推進。

- ・対 象：ベトナム 夢 KOBE、ひょうごラテンコミュニティ、
NPO 法人関西ブラジル人コミュニティ CBK

2 交流人口の拡大

草の根による国際交流や国際会議の開催、県民の国際理解の促進を通じて、国内外の人的交流を推進し、県民の国際交流を進めた。

(1) 国際交流の推進

ア ひょうご国際プラザの管理・運営

(R4年度決算額 130,255 千円) (R3年度決算額 126,971 千円) 【一部県委託】

各種国際関係情報の提供やNGO等と連携した展示など国際交流等の場として設置している「ひょうご国際プラザ（図書館・交流ギャラリー）」を管理、運営。

① 利用実績

区分	令和3年度	令和4年度	対前年同期比
来館者数	4,551 人	4,723 人	104%
貸出冊数	4,314 冊	3,509 冊	81%
交流ギャラリー展示件数	2 件	6 件	300%

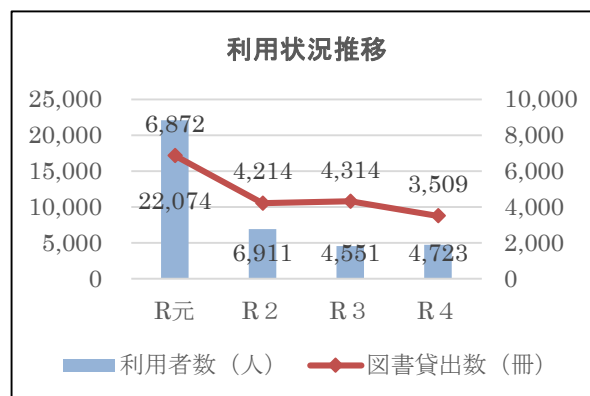
② コロナ禍にかかる対応

・開館時間短縮：令和2年6月1日（月）～令和5年3月31日（金）

（開館時間を10時30分～18時30分から10時30分～17時に短縮）



国際情報センター



ミャンマー写真展



「にっぽん—大使たちの視線2022」写真展セミナー

イ 兵庫県海外事務所の運営

(R4年度決算額 157,472 千円) (R3年度決算額 163,271 千円) 【県委託等】

兵庫県の国際戦略を推進するための拠点として、海外における友好交流、経済交流、観光交流事業を展開するため、兵庫県ワシントン州事務所、西オーストラリア州・兵庫文化交流センター、兵庫県パリ事務所及び兵庫県香港経済交流事務所を運営。

なお、西オーストラリア事務所については、令和5年3月末をもって廃止し、その機能を現地州政府、日豪交流団体へ引き継いだ。

① 経済交流事業の展開

ひょうご産業活性化センターとの連携により、現地事務所のネットワークを生かして、地場製品の海外販路開拓など県内企業の現地活動を支援。また、海外の経済発展を本県の新たな経済成長に取り込むため、外国・外資系企業の県内への誘致を促進。

② 観光交流事業の展開

観光フェア等への出展やセミナーの開催など様々な機会を捉えて、現地の政府関係者・旅行業関係者などに対して本県をPRすることで、外国人観光客の誘致を促進。

③ 友好交流活動の展開

友好・姉妹州省を中心とする世界の各地域と双方の課題解決に向けた交流を推進するため、市町レベル・県民レベルの交流支援のほか、兵庫のプレゼンスを高めるための日本文化紹介事業や日本語教室の開催、学校間交流やスポーツ交流など、広範囲にわたる友好交流活動を展開。

④ 草の根ネットワークの構築

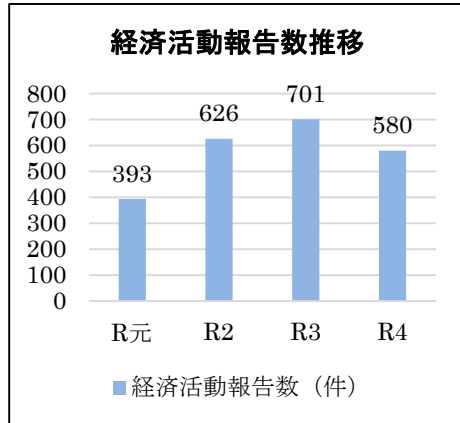
海外事務所の円滑な運営を図るため、現地関係者・団体等とのネットワークを構築し、人材活用など相互に協力。また、ワシントン州では、これまでの文化活動を通しての草の根活動を継続し、南米では本県出身者の現地コミュニティ活動を支援。

区 分		兵庫県ワシントン州事務所	西オーストラリア州・兵庫文化交流センター※1	兵庫県パリ事務所	兵庫県香港経済交流事務所
設 置 国		アメリカ合衆国	オーストラリア連邦	フランス共和国	中華人民共和国
設置都市		シアトル	パース	パリ	香港
設置時期		H2. 5. 1	H4. 8. 1	H5. 10. 1	H24. 10. 1
担当エリア		米州	オーストラリア	欧州 中東 アフリカ	中国 ASEAN 等 インド
県職員の配置		1名	1名	2名	1名
市町等からの派遣		副所長1名 (神戸市から派遣)	—	—	副所長1名 (民間企業から派遣)
連携体制※2	広 域	○	○	○	○
	ビジネス	○	○	○	○
	県立大	○	○	○	○
	神戸大	○	○	—	—
	神戸市	○	—	○	—

※1 兵庫県県政改革方針令和4年度実施計画に基づき、令和4年9月末で事業終了。令和5年3月末で

廃止。

- ※2 「広域」：関西広域連合共同事務所、「ビジネス」：ひょうご海外ビジネスセンター参与（経済交流担当）、「県立大」：県立大学海外事務所、「神戸大」：神戸大学海外事務所、「神戸市」：神戸市との共同事務所



(※)5 事務所中令和4年3月末でブラジル事務所廃止、令和4年9月末で西オーストラリア州・兵庫文化交流センター事業終了



はりま姫路の酒プロモーション(パリ)



オープンスクールイベント(香港)



日本酒プロモーション(ワシントン州)

ウ 南米との交流促進事業（新規）

(R4年度決算額 3,220 千円)【県委託】

令和4年3月にブラジル事務所を閉鎖したが、その後も継続して南米地域との交流事業を展開するため、現地連絡員をパラナ州クリチバに設置し、友好ネットワークを維持・発展。

エ 海外展開支援ブースへの出展

(R4年度決算額 95 千円) (R3年度決算額 237 千円)

中小企業の海外展開支援に対する海外事務所の積極的な取組をアピールするため、国際フロンティア産業メッセに出展。

・時 期：9月1日（木）、2日（金）

オ ひょうごホームステイ受入の調整

(R4年度決算額0千円) (R3年度決算額0千円)

県内に滞在する外国人に兵庫の魅力を知ってもらうとともに、外国人及び受入家庭の双方が異文化に対する理解を深め、交流を活発化できるよう、ホストファミリーとホームステイを希望する外国人のマッチング等を行った。(コロナ禍のため、令和4年実施件数は0件)

- ・対 象：HIA 関係団体、当協会が実施する各種青少年交流プログラム参加者、県内大学等の留学生で大学から受入れ依頼があった者
- ・登録数：59 家庭

カ 訪日教育旅行の誘致促進・学校交流支援

(R4年度決算額9,608千円) (R3年度決算額9,121千円) 【県補助】

訪日教育旅行において重視されている学校交流等を県内において促進するとともに、若年層の交流拡大によるリピーターや兵庫ファンづくりを図るため、教育委員会・学校・地域等における受入体制の推進に向けた調整等を実施。

また、訪日教育旅行にかかる学校交流の企画・調整や、学校現場と訪問団の円滑な交流の実現に向けた取組を推進。

① 学校交流等受入実績

- ・形 式：オンライン+対面（対面での交流は1件）
- ・実 績：104件(台湾66、米国25、韓国5、マレーシア4、ニュージーランド3、豪州1)
2,251人

② プロモーション

a 北米プロモーション

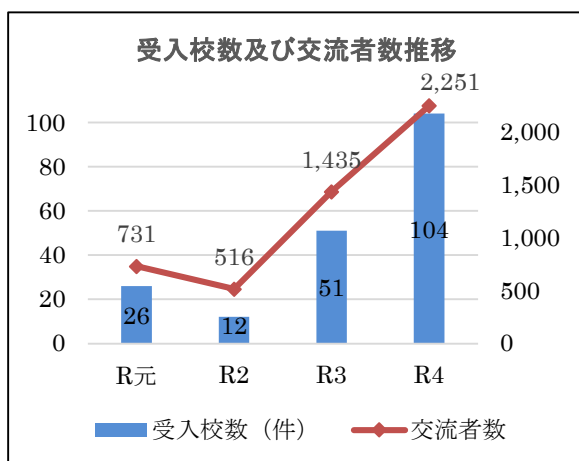
- ・時 期：11月11日（金）
- ・形 式：オンライン

b 台湾プロモーション

- ・時 期：㊦11月22日（火）、㊧2月14日（火）～18日（土）
- ・形式等：㊦オンライン、㊧日本国内（東京、兵庫県等）

c 台日教育交流20周年記念事業

- ・時 期：12月4日（日）～8日（木）
- ・場 所：台湾



マレーシアとのオンライン交流(県立篠山鳳鳴高校)

キ 草の根の国際交流の推進

(R4年度決算額 468 千円) (R3年度決算額 331 千円)

HIA 事業・活動への支援組織である HIA 友の会会員 (3 月末現在 152 人) を中心に、県民が主体となった草の根の国際交流や多文化共生づくりを積極的に実施。

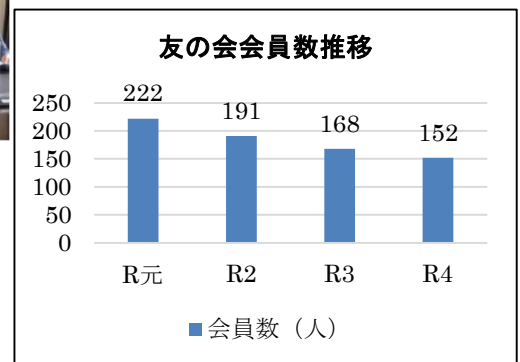
- ① 交流の集い (コロナ禍により中止)
- ② 兵庫・海南国際交流サロン
 - ・時 期: 11 月 23 日 (水)
 - ・形 式: オンライン
 - ・参加者: 96 人
 - ・内 容: 兵庫県の友好提携先である海南省の基礎知識、文化、観光の紹介
- ③ 食文化交流教室
 - ・形 式: オンライン (YouTube) で公開
 - ・内 容: 日本人の夫と経営するイタリア料理店のイタリア人女性シェフが、母国の思い出の家庭料理・冷製パスタ「パスタフレdda」の作り方や、イタリアと日本の文化の違いなどを紹介。9 月から Web 公開。



食文化交流教室(イタリア)



兵庫・海南国際交流サロン



(2) 知的交流の推進

ア 国際協力セミナーの開催

(R4年度決算額 97 千円) (R3年度決算額 37 千円)

開発途上国をめぐる諸問題や国際協力に対する県民の理解を深め、国際協力活動への参画を促すため、国際協力の専門家、県内 NGO の活動家や青年海外協力隊 OB 等を講師に招き、国別・テーマ別のセミナーやフォーラムを開催。

- ① 第1回
 - ・時 期: 6 月 23 日 (木)
 - ・形 式: オンライン
 - ・講 師: 神戸学院大学経済学部教授 岡部 芳彦 氏
 - ・テーマ: 「～気になんねん、ヨーロッパ・・・今、私たちができること～」
 - ・内 容: ロシアのウクライナ侵攻を受けて、今後のヨーロッパ、そして世界はどうか、「この戦争が早く終わり、誰もが住みたい場所で安心して暮らす」ために自分に何ができるかを一人一人が考えるセミナー。
 - ・参加者: 287 人



国際協力セミナー

2022年度第1回国際協力入門セミナー
「教えて!!阿部先生!!!」シリーズ 最新ヨーロッパ情勢講義とQ&A
～気になんねん、ヨーロッパ…
今、私たちができること～

「大切なのは、
関心を持ち続けること」

【講師紹介】 阿部芳彦氏
・神戸大学文学部経済学教授
・神戸大学文学部国際文化センター所長
・ウクライナ問題国際シンポジウム共同議長
・ウクライナ問題国際シンポジウム共同議長
・ウクライナ問題国際シンポジウム共同議長

今、数多くのメディアに出演、分かりやすい解説で評判のウクライナ研究の第一人者、
阿部教授の特別講義です。
「この戦争が早く終わる、誰もが住みたい場所であって暮らす」ために、何が出来るか？
皆さんと一緒に考えましょう。

■ 日時 6月23日(木) 19:00～20:30
■ オンライン (Zoom)
■ 二か国語開催 (日・英) 午語講義あり
■ 内容: 第1部「教えて!!阿部先生!!!『最新ヨーロッパ情勢』講義」 19:00～19:50
第2部「先生と一緒に考える! Q&A (参加者から先生へ、先生から参加者へ)」 19:50～20:30
～みんなの意見を聞き、考える～
第3部「先生と一緒に考える! Q&A (参加者から先生へ、先生から参加者へ)」 20:30～21:00
■ 申込方法: 右のQRコードから
■ 定員 300名 (先着順) ■ 参加費: 無料 ■ 定額制申込

主催: 一般社団法人 大分県国際交流協会
協賛: 大分県国際交流協会
後援: 大分県国際交流協会
お問い合わせ: 大分県国際交流協会
TEL: 097-271-0223 (担当: 鈴木、長谷)

国際協力セミナーチラシ

② 第2回

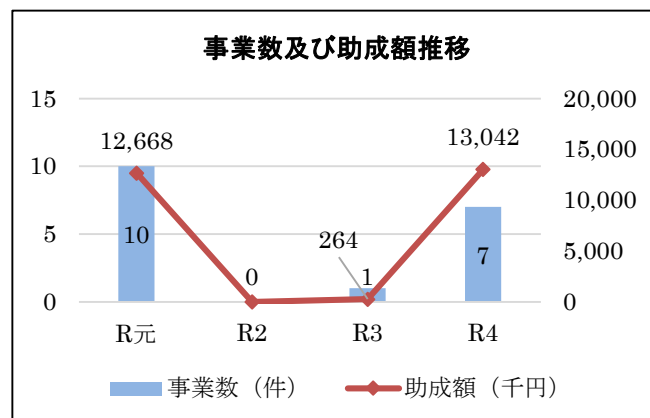
- ・時 期: 3月17日(金)
- ・形 式: オンライン
- ・テーマ: ガラスで繋ぐ～三田市とパラオの絆～
- ・講 師: JICA パラオ事務所企画調査員 佐上 裕俊 氏
コロール州政府廃棄物官事務所コンサルタント 藤 勝雄 氏
JICA 関西市民参加協力課 糸山 大志 氏
三田市地域共創部市民協働室参事 横溝 朋之 氏
NPO 法人グラスクラフト協会理事長・三田市ガラス工芸館館長 元廣 幸雄 氏
NPO 法人グラスクラフト協会 渡邊 行一 氏
- ・内 容: 大洋州パラオ共和国のリサイクルセンターにあるガラス工房での活動や、廃ガラスを工芸品にする循環型社会を目指すパラオへの自治体との連携による国際交流を紹介。
- ・参加者: 77人

イ 国際会議開催への助成

(R4年度決算額 13,047 千円) (R3年度決算額 265 千円)

県内への国際会議誘致を促進するため、会議開催費の一部を助成。

- ・件 数: 7件 13,042 千円 (令和3年度実績 1件 264 千円)



ウ 国際会議場の活性化への支援

(R4年度決算額 300 千円) (R3年度決算額 500 千円)

国内外のさまざまな人と交流・体験できる「こころづくり絵画コンクール」を美しい自然環境に囲まれた淡路夢舞台国際会議場を会場に、株式会社夢舞台などと共催により開催。

- ・時 期：10月2日（日）
- ・参加者：632人（うち外国人68人）

(3) 国際理解の促進

ア 民間国際交流事業への助成

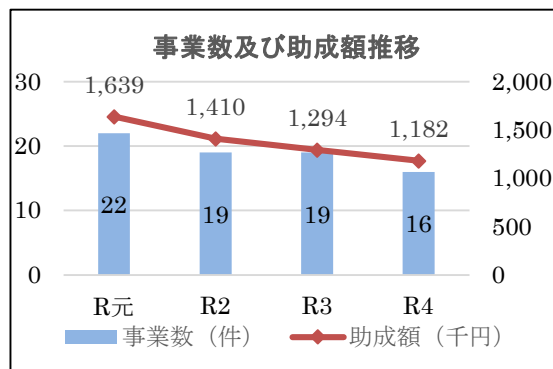
(R4年度決算額 1,245 千円) (R3年度決算額 1,354 千円)

県民による国際交流活動を育成・奨励するため、先駆的・先導的な国際交流事業に対し助成。

- ・助 成 額：助成対象経費の1/2（上額10万円）
- ・対 象：県内で国際交流活動に継続的に取り組む NGO/NPO 等の非営利団体が行う国際交流事業
- ・交付決定件数 16件 1,285 千円
- ・支給実績件数 16件 1,182 千円（令和3年度実績 19件 1,294 千円）



ネパール祭り(NGO ネパール虹の家)



イ 国際交流団体等ネットワークの構築

(R4年度決算額 1,380 千円) (R3年度決算額 811 千円)

県内の国際交流団体が有するノウハウや情報の共有、有効活用を図るネットワークを構築し、団体相互の連携を推進するため、「ひょうご国際交流団体連絡協議会」（HIA、県内36市町の国際交流協会及び準会員5町で構成）の活動を支援するとともに、「ひょうご国際交流メールマガジン」を広く配信するなど、情報発信を実施。

① 総会

- ・時 期：5月25日（火）
- ・場 所：国際健康開発センタービル9階会議室

② 講演会

- ・時 期：8月3日（水）
- ・形 式：オンライン
- ・講 師：明治学院大学准教授 長谷部 美佳 氏

- ・テ ー マ：在住外国人が地域の担い手として活躍できるコミュニティづくり
- ・参 加 者：14 団体 30 人
- ③ 情報共有・発信
 - ◇ひょうご国際交流メールマガジンによる各団体のイベント情報の掲載
 - ・ 発 出 回 数：12 回
 - ◇Facebook による協議会事業、会員団体事業及び災害時等の情報の発信
 - ・ 更 新 回 数：79 回
 - ・ 内 容：新型コロナウイルス感染症にかかる知事メッセージ、イベント情報 等
 - ◇地域で活躍する外国人を「“応援しよう” ひょうごの仲間」として紹介
 - ・ 紹 介 人 数：6 人
- ④ 人材育成事業
 - ◇通訳・翻訳ボランティア研修
 - ・ 時 期：1 月 22 日（日）
 - ・ 形 式：オンライン
 - ・ 参 加 者：5 団体 15 名
 - ◇テーマ別研修会・講演会
 - ・ 時 期：6 月 22 日（水）
 - ・ 形 式：オンライン
 - ・ 内 容：災害時における外国人対応
 - ・ 参 加 者：14 団体 28 名
 - ◇「やさしい日本語」講師の派遣
 - ・ 派 遣 回 数：6 団体 9 回
- ⑤ 啓発・普及事業
 - ◇地域別意見交換会による情報共有
 - ・ 実 施 回 数：各地域 1 回
 - ◇会員紹介冊子の発行（年 1 回）
- ⑥ 表彰事業（草の根国際功労賞）
 - ・ 個 人：8 人
 - ・ 団 体：2 団体



総会(草の根功労賞受賞式)



「やさしい日本語」講座(赤穂市国際交流協会)

ウ ひょうご国際交流キャラバンプロジェクト

(R4年度決算額 10,084 千円) (R3年度決算額 10,068 千円)

兵庫県国際交流員 (CIR) を HIA 内に配置するとともに、「ひょうご国際交流団体連絡協議会」の会員団体等と連携して、CIR の企画による国際交流イベントを各地で実施することにより、各地域の団体の活性化、ネットワーク強化を図る。

・回 数 : 16 回 (令和3年度実績 11 回)

派遣日	団体名	行事名
4月20日(水)	(公財) 神戸国際コミュニティセンター	英語でおしゃべり
5月18日(水)	(公財) 神戸国際コミュニティセンター	英語でおしゃべり
5月22日(金)	播磨町国際交流協会	国際交流 IN HARIMA
6月15日(水)	(公財) 神戸国際コミュニティセンター	英語でおしゃべり
7月16日(土)	(公財) 姫路市文化国際交流財団	ひめじ子ども国際交流スクール
7月20日(水)	(公財) 神戸国際コミュニティセンター	英語でおしゃべり
8月7日(日)	播磨町国際交流協会	インターナショナルデー
9月17日(土)	(公財) 西宮市国際交流協会	NIA 地球っ子クラブ
10月1日(土)	(公財) 加古川市国際交流協会	はじめての国際交流
10月21日(金)	(公財) 神戸国際コミュニティセンター	キッズ国際ひろば
10月23日(日)	宍粟市国際交流協会	宍粟国際ふれあいまつり
11月3日(木)	豊岡市国際交流協会	インターナショナルデイ 2022 豊岡万博
12月3日(土)	洲本市国際交流協会	作って遊んで体験! 世界の文化
12月10日(土)	NPO 法人宝塚市国際交流協会	日本語スピーチ大会
12月11日(日)	(公財) 姫路市文化国際交流財団	ひめじ子ども国際交流スクール
12月17日(土)	伊丹市国際・平和交流協会	つながる! ひろがる! みんなの文化



作って遊んで体験! 世界の文化(洲本市)



インターナショナルデイ 2022 豊岡万博(豊岡市)

エ 広報紙（Come HIA）の発行

（R4年度決算額 1,740 千円）（R3年度決算額 1,718 千円）

国際交流・協力に関する各種情報及び協会の活動状況等を掲載した広報紙「Come HIA」を発行し県民の国際感覚及び国際理解を醸成・促進。また、外国人県民に向けて、英語版、中国語版、韓国語版（いずれも電子版）を発行。

- ・発行時期：10月、3月
- ・発行部数：各号約5,000部



Come HIA 104号、105号

オ 関係団体への支援

（決算額 各協会で計上）

兵庫EU協会、日本国際連合協会兵庫県本部、JICA海外ボランティアひょうご応援団の活動、兵庫県ユニセフ協会、国際防災・人道支援協議会（DRA）を支援することにより、国際問題や国際協力への関心を喚起するとともに、新たな交流のきっかけづくりを実施。

① 兵庫EU協会への支援

a 駐京都フランス総領事講演会

- ・時期：12月6日（火）
- ・場所：神戸酒心館
- ・内容：関西領事団団長のジュール・イルマン駐京都フランス総領事を招き、「びっくりフランス！～皆さまのご存じないフランス」というテーマでのセミナー及び交流会を実施
- ・参加者：69人

② 日本国際連合協会兵庫県本部への支援

a SDGsと国際交流セミナー

- ・時期：10月25日（火）
- ・場所：兵庫県立大学姫路環境人間キャンパス
- ・講師：兵庫県立大学環境人間学部教授 高橋 綾子 氏
- ・内容：SDGsに関する高橋教授の講演、兵庫県立大学学生サークル代表者によりラオスでの教育支援事例発表
- ・参加者：120人



SDGsと国際交流セミナー(日本国際連合協会兵庫県本部主催)

b ワークショップ難民への支援

時 期	テーマ
7月13日(水)	難民とは
7月20日(水)	難民になる
7月27日(水)	難民を受け入れる

c 難民問題セミナーへの支援

時 期	テーマ
11月6日(水)	レバノンにおけるシリア難民教育支援について
11月30日(水)	難民として日本とオーストラリアに暮らして
12月7日(水)	ウガンダにおける難民支援
12月14日(水)	ウクライナ避難民支援について

d 防災教育イベント「イザ!美かえる大キャラバン」への共同出展

- ・時 期：1月29日(日)
- ・場 所：JICA関西、人と防災未来センター

③ JICA海外ボランティアひょうご応援団への支援

- 国際協力入門セミナーの共同開催(再掲)
- JICAボランティア派遣前表敬訪問・オリエンテーションの支援
 - ・時 期：7月21日(木)、10月12日(水)、12月14日(水)、3月24日(金)

④ 兵庫県ユニセフ協会への支援

- 理事会への参画
 - ・時 期：12月8日(木)
 - ・場 所：生活協同組合コープこうべ本部
 - ・内 容：HIA理事長が同団体の常務理事として理事会に出席

⑤ 国際防災・人道支援協議会(DRA)への支援

- 国際防災・人道支援フォーラムへの参画
 - ・時 期：1月24日(火)
 - ・場 所：神戸ポートピアホテル
 - ・内 容：HIA理事長が実行委員会委員に就任し、フォーラム開催を支援

カ 草の根の国際交流の推進

〔再 掲〕

キ 海外移住と文化の交流センターへの支援

〔再 掲〕

3 人づくりへの貢献

人物交流や教育活動等を通じて、国際社会を担う次代の国内外の人材育成を推進。

(1) 人物交流による人材育成

ア ひょうご海外研修員の受入

(R4年度決算額 845 千円) (R3年度決算額 0 千円)

兵庫県の友好州省をはじめとする諸外国のうち ODA 対象国から優秀な青年を研修員として受入れ、研修機会を提供することにより、課題解決型の交流を促進することとしていたが、コロナ禍により中止。

一方で、防災分野研修員の派遣元で、ひょうごトルコ友愛基金を管理・運営する土日基金の理事長等が、国際防災・人道支援フォーラムへ参加するため来県した機会に、コロナ禍収束後の研修再開に向けた意見交換と、防災等にかかる最新の音響機器・設備を体験するため企業訪問を実施。

また、ブラジルを中心とした南米からの研修員送り出しに係る連絡調整を担当する HIA のブラジル連絡員を招聘し、研修再開に向け、ブラジルに姉妹都市をもつ県内市町や同国への販路拡大を進めている企業等への訪問等を実施。

① 土日基金理事長等の受入

- ・実施日：1月23日（月）
- ・来訪者：ネジャット・ボラ・サヤン理事長等5名
- ・視察先：TOA 株式会社 R&D ベース・ナレッジスクエア（宝塚市）
- ・内容：防災に関連する最新の音響機器・設備等の体験

② ブラジル連絡員の招聘

- ・実施日：3月5日（日）～3月19日（日）
- ・来訪者：ウエタ・クリスティアネ・ユキ連絡員
- ・訪問先：神戸市、姫路市、西宮市、加古川市、淡路市、ブラジルへの販路拡大を進めている県内企業 等
- ・内容：研修再開に向けたコース設計のための協議の実施 等

イ セーヌ・エ・マルヌ県との人物交流の促進

(R4年度決算額 0 千円) (R3年度決算額 0 千円)

セーヌ・エ・マルヌ県との人物交流を行い、両県間の相互理解と友好関係を促進することとしていたが、コロナ禍により中止。

(2) 教育活動を通じた人材育成

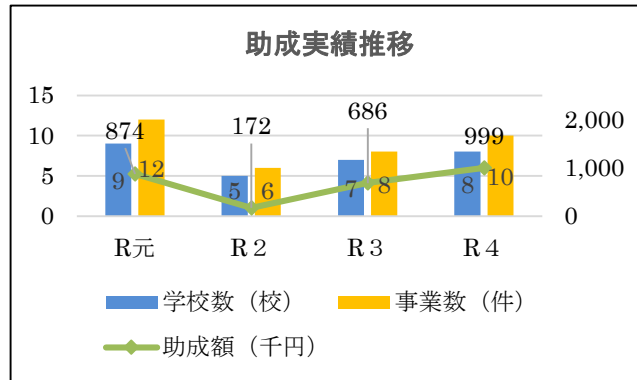
ア 外国人学校交流の推進

(R4年度決算額 999 千円) (R3年度決算額 687 千円)

外国人学校に通う児童生徒が兵庫県内の自然とのふれあいや地域住民との交流を通し、地域、ひいては兵庫県への理解を深めることを目的に、外国人学校が実施する自然学校等の事業に対し助成。

- ・対象者：外国人学校
- ・助成額：助成対象経費の1/3（上限：428 千円／校）
- ・内容：日帰り若しくは1泊2日以上 の県内自然交流施設等での体験学習

・件 数：8校10事業（日帰り1事業、1泊2日9事業）



イ 外国語指導助手(ALT)を活用した人材の育成（新規）

（R4年度決算額 152,524 千円）

外国語指導助手(ALT)を活用して、英語教育の充実を図るとともに、高校生の海外留学支援や姉妹校等との国際交流の推進を図り、豊かな語学力、コミュニケーション能力を身に付け、国際的に活躍できるグローバル人材を育成。

- ・配置校：全ての兵庫県立高等学校（全日制）
- ・内 容：海外姉妹校等の共同学習、高校生の海外留学の指導補助、学校及び地域の国際交流活動の指導補助等の事業に必要な経費の一部を負担。

ウ 訪日教育旅行の誘致促進・学校交流支援

〔再 掲〕

(3) 多文化共生推進人材の育成

ア 地域日本語教育の総合的な体制づくりの推進

〔再 掲〕

イ 外国人県民・児童生徒の居場所づくり

〔再 掲〕

ウ 母語教育等活動支援事業

〔再 掲〕

エ 母語教育の普及啓発

〔再 掲〕

オ 多文化共生を考える研修会の開催

〔再 掲〕

(4) 国際協力人材の育成

ア 国際協力セミナーの開催

〔再 掲〕

イ 関係団体への支援

〔再 掲〕

《その他事業》

1 篠原住宅の管理

(R4年度決算額 収入 0千円 支出 1,260千円)

(R3年度決算額 収入 0千円 支出 1,497千円)

兵庫県が所有する旧オーストラリア総領事公邸を協会が借り受け、関西地域で活動する外国人ビジネスマン等への住宅物件として賃貸。

- ・所在地：神戸市灘区篠原本町
- ・敷地面積：2,400 m²
- ・建物：鉄筋コンクリート造2階建 3棟 (1,374 m²)
- ・入居状況：令和2年12月からは3棟全てで空き家。
(A棟：令和2年12月～、B棟：令和2年7月～、C棟：令和2年6月～)
- ・対応状況：収入がなく経費のみが継続して発生しており、公益目的事業の実施に支障を及ぼすことが懸念されるため、今後の管理について、県と協議を重ね、使用貸借契約を令和5年3月31日をもって終了した。

2 母語教育等活動支援事業

〔再掲〕

3 医療機関における外国人患者受入環境の整備

〔再掲〕

4 国際会議開催への助成

〔再掲〕

5 国際会議場の活性化への支援

〔再掲〕